

第4章 変わりゆくまち-登戸土地区画整理事業-

多摩区の玄関口とも言える登戸周辺では、急激な人口集中による住宅の密集や細い道路等、防災性や生活環境の課題を解決するため、昭和63年から長年にわたり土地区画整理事業が行われてきました。この間に昔の街並みが徐々に姿を消し新しいまちが生まれつつあります。ここでは事業エリアの昔の街区とまち角の写真を御紹介し、生まれ変わりつつあるまちのかつての姿を振り返ります。

※中央の図は、黒線が昭和63(1988)年頃の地図、赤線は土地区画整理事業の設計図(令和5年1月時点)です。



石井輪業協の小道
平成初期撮影



登戸東通り商店街
平成初期撮影



登戸東通り商店街池田屋前
平成16(2004)年撮影



吉沢石材店前
平成16(2004)年撮影



登戸駅前商店街
平成16(2004)年撮影



JR登戸駅前
平成15(2003)年撮影



登戸野川線居酒屋源氏前
平成16(2004)年撮影



中央銀座商店街
平成16(2004)年撮影



東通り商店街手塚履物店前
平成16(2004)年撮影



登戸駅前商店街増田金物店前から南方向
平成16(2004)年撮影



水路道(吉田昼店付近)
平成16(2004)年撮影



登戸東通り商店街
平成16(2004)年撮影



小泉橋前
平成16(2004)年撮影



ヘアサロンクロダ前
平成8(1996)年撮影



区役所通り登栄会商店街
平成30(2018)年撮影



新田堀跡から北東方向
平成17(2005)年撮影



区役所通り登栄会商店街
平成30(2018)年撮影



新田堀跡を南東方向
平成17(2005)年撮影



小田急線路沿いY字路
平成17(2005)年撮影



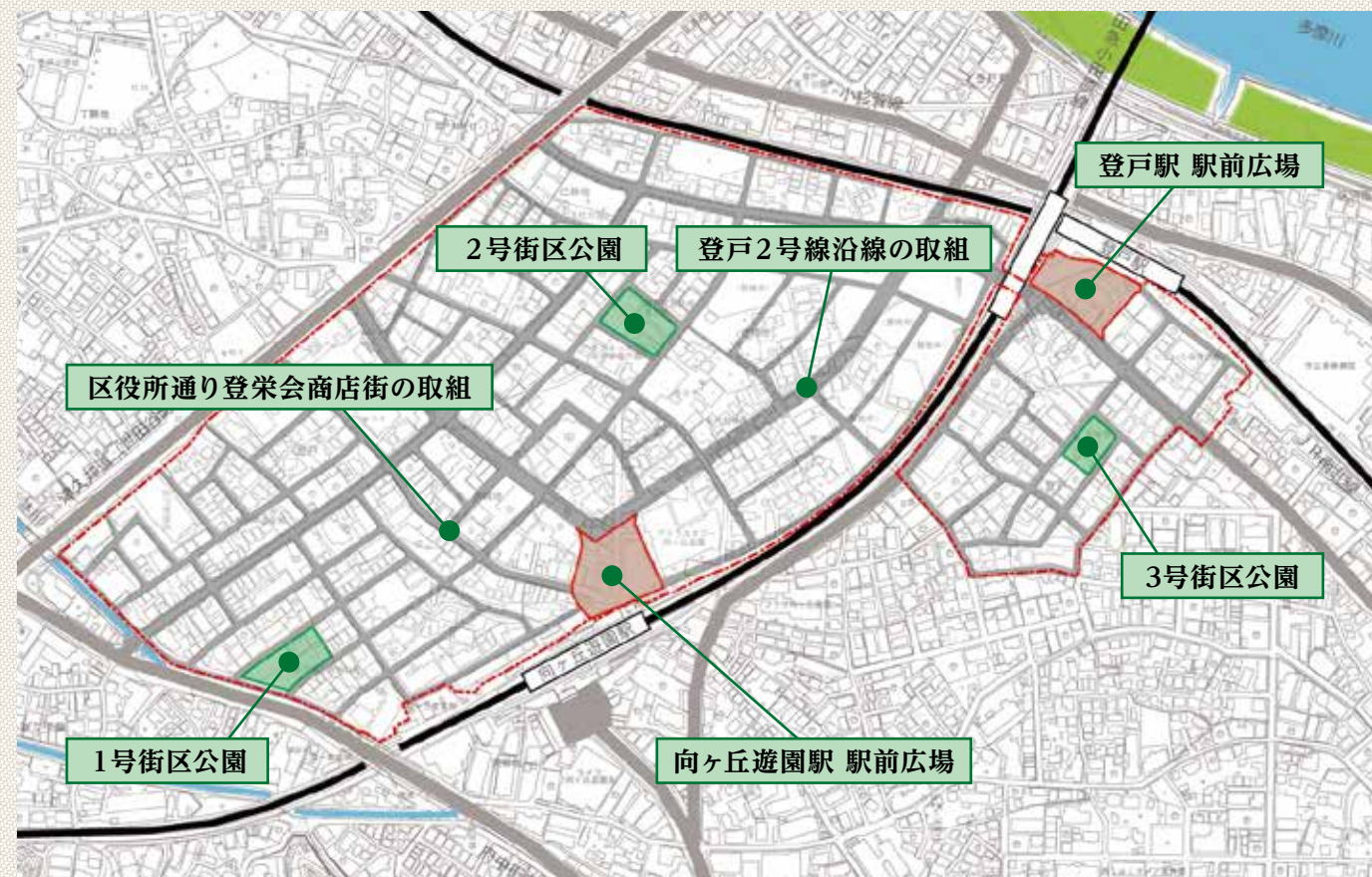
柏屋
平成28(2016)年撮影



旅館ふくだや前
平成16(2004)年撮影

登戸土地区画整理事業完了後を見据えて

土地区画整理事業に伴い大きな変貌をとげつつある登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の未来のまちの姿を展望します。



2つの駅前広場

多摩区の顔となる駅周辺への生まれ変わりを目指し、登戸駅及び向ヶ丘遊園駅では駅周辺の交通機能を強化するため、駅前広場の整備が予定されています。



※イメージパース等の内容は、変更される可能性があり、確定したものではありません。

登戸2号線沿線の取組

登戸駅と向ヶ丘遊園駅をつなぐ、誰もが歩きたくなる居心地の良い道路空間を形成することで、人々の回遊を促し、まち全体の活性化を図る取組が推進されています。



区役所通り登栄会商店街の取組

一方通行化や無電柱化により、安心・安全な歩行空間や憩いスペース等を創出するとともに、向ヶ丘遊園駅前から連続した歩きたくなる魅力的な通りを目指す取組が推進されています。



3つの街区公園の整備

地区内に新たに生まれる3つの公園では、整備前から市と地域が協働し、地域のニーズに合わせた使い勝手の良い、管理運営を意識した公園づくりの取組が進められています。

